



日 時：平成 24 年 12 月 13 日(木) 12:30～14:30

場 所：エルシィ

出席者：68 名 出席率 93%

(会員総数 73 名 休会 0 名)

飯田例会委員長の司会で開会

本日の出席状況報告があり、お客様として日野プロバスクラブから 2 名出席されているとの報告があった。会食中に吉田会長から 17 件のハッピーコイン（後掲）の披露があった。

第 1 部. 臨時総会

1. 開会 飯田例会委員長

資料の確認をした。



2. 挨拶 吉田会長

これより臨時総会を開催します。臨時総会の議事は生涯学習サロンの予算の審議で、今まで地域奉仕委員会の方々が計画されてきたことの実現に向かうものです。よろしく願いいたします。

3. 議長選任

恒例により会長を議長に選任した。出席率は 95%であり、議案は有効に成立する。書記に鈴木弘昭会員が、議事録署名人に阿部治子会員と岡部治会員が選出された。

4. 議題

第 17 回生涯学習サロン特別会計予算(案)が提出され、橋本鋼二地域奉仕委員長が説明し、承認された。

5. 閉会

第 2 部 第 206 回例会

1. 開会 飯田例会委員長

資料の確認をした。

2. 挨拶 吉田会長

早いもので本日の例会で、今期の半ばを迎えました。これまでの活動をふり返ると共に、これからのクラブ活動を一層盛り上げていきたいと思っています。

本日は 3 件の嬉しい話題を報告させていただきます。最初に、今日お二人の新入会員をお迎えすることになりました。つぎに、本日の例会に日野プロバスクラブ (PC) より、お二人のお客様をお迎えしております。日野 PC、多摩 PC、八王子 PC の御近所づきあいの成果だと思っております。それぞれ、後ほど、ご紹介申し上げます。

3 件目は、武田洋一郎会員が、「あったかホール・リサイクル工房の運営に貢献した」として、八王子市より表彰を受けられた事です。おめでとうございます。

さて、先月の例会後今日までに、神戸での全日本 PC 協議会総会に参加、いちよう祭りに協力、宇宙の学校スクーリング実施、多摩 PC 忘年会に参加と、当クラブの活動は活発でした。全日本 PC 協議会総会では、当クラブから、下山邦夫会員が宇宙の学校について報告し、他のクラブの方々に強い印象を与えました。八王子の活動が際立っていたのは、クラブ創立当時、核になられた方々が会の活動方針を明確にされ、それを歴代の先輩方が、受け継いでこられた成果と思います。このように会の活動が前向きに進んだことは、嬉しい限りです。謙虚に、これからもさらに前進したいものです。

3. お客様のご紹介



東京日野 PC の例会委員長中村代志子様と副委員長後藤紀之様です。

4. 新入会員のご紹介

大野聖二会員から会員番号 130 高橋敏夫会員が、また池田ときえ会員から会員番号 131 山口三郎会員が紹介された。高橋敏夫会員は八王子市子供科学館館長・IT 推進室長を、また山口三郎会員は独立行政法人国際協力機構中南米部長を歴任された。両人は自己紹介と抱負等を述べられた。



高橋敏夫会員



山口三郎会員

5. パースデーカード贈呈

池田会員手作りのパースデーカードが、吉田会長より 11 月生まれの 8 名の会員(敬称略)石田雅巳、近藤泰雲、渋谷文雄、杉山友一、田中美代子、東山栄、増田由明、山崎修二に手渡された(欠席者は石田雅巳・東山栄)。また、12 月生まれの 2 名の会員(敬称略)宮城安子、飯田富美子にも手渡された。



11 月生まれの会員



12 月生まれの会員

6. 卓話

山歩きを楽しむ 有泉会員



山梨は甲府を中心にして周りが山々に囲まれています。甲府駅からバスで 50 分、甲府の南側の山のふもとの豊富村(今は中央市大鳥居)が私の生家です。南へ 5～6 分のところ

に 700m 前後の山々があります。その山また山の向こうが有名な富士山・富士五湖という地形です。西には南アルプスの盟主白峰三山の主峰で富士山につぐ高さの北岳、北には八ヶ岳が裾野まで見えます。田畑以外は何も無かった所でしたが今は中央道南インターから 10 分余り、道の駅「とよとみ」もでき、お配りしたパンフレットの「シルクふれんどりい」もできました。機会がありましたらぜひお出かけください。

蚕の盛んな村でしたので蚕の神様というのがあり、その神社が 700m の山の上にありました。毎年 4 月 17 日にはお祭りがあり、なぜか学校も半日になり友達とよく登っていたので、山歩きが好きな原点になったように思います。弟が高校生になった時、父に富士登山に連れて行ってもらいました。あいにく日の出も見えなく、頂上のお鉢めぐりは足が前に進まずとても苦しい思いでしたし、下りは素足で足が膝近くまでうまり、雨に降られさんざんでした。

子供が 3～4 才の頃から主人と 3 人の恒例の山歩きは高尾～城山～相模湖のコースでした。ことに秋の相模湖の紅葉が印象に残っています。

町内の山の会に入会したのは 58 才の頃、まさ

しく中高年からの楽しみのひとつとして安全に楽しく登山するため、体力づくり、さらには仲間づくりができればという思いでした。

以来13年、いくつかの山々に登ることができ少しは体力もつき、良き仲間もでき山や旅行も楽しんでいきます。いくつかの山のうち思い出に残ったのは楡形山、白馬岳、槍ヶ岳、水晶岳、幌尻岳等です。山の会で最初に登ったのは楡形山で、甲府盆地の西端に位置し、中学への登校途中に毎日眺めた山であり、運命のようなものを感じました。

最初の夏山登山は北アルプスの白馬岳でしたが、大雪溪に感激し、お花畑に心が和みましたが、この登山で手を骨折しました。槍ヶ岳には2度登り、水晶岳への縦走もしました。また、北海道の幌尻岳の登山では体調不良に苦しみ、事前訓練の必要性を痛感しました。

7. 幹事報告 塩澤幹事

10月5日に日野PC、多摩PC、および八王子PCの合同懇親会を、10月6日に本会の理事会を夫々開催しました。また、12月10日に「いちよう祭り」の反省会に佐々木前会長とともに出席しました。

8. 各委員会報告

(1) 例会委員会 飯田委員長

会員総数73名、出席者68名、出席率93%です。

(2) 情報委員会 寺田委員長

プロバスだより205号の編集は矢崎会員が担当しました。「宇宙の学校」第1回スクーリングの報告文、および渋谷会員、久野会員と田中信昭会員の投稿文を記載しました。

(3) 会員委員会 橋本 晴重郎委員長

二人の新会員を迎えることができました。会員総数は73名(女性13名)となり、会員の平均年齢は0.3才下がりました。なお、1月の例会で下期の会費を徴収します。

(4) 研修委員会 土井 俊雄委員長

11月8日の野外研修は無事終了しました。昨日、多摩PCの増山様にお会いし、2月の例会で「ブータンについて」のお話しをしていただくことになりました。また、1月には本会の下田会員が多摩PCでお話をする予定です。

(5) 地域奉仕委員会 橋本 鋼二委員長

本日、学習サロンに関する3資料を配布しました。第17回生涯学習サロンのプログラム、学習サロンへの一般会員の増大を図るために実施するアンケート調査表、および第17回生涯学習サロンへの参加予定表です。

9. 交流担当 浅川理事

日野PC、多摩PC、および八王子PC間の卓話の交流会を前述のごとく開催します。また、3PC間の同好会の交流については、ゴルフがすでに活動を開始し、囲碁の計画も進められています。さらに、来年の2月に第2回の会員同士間の交流会を実施しますが、その参加費は自前になります。

10. 「宇宙の学校」報告 下山運営本部長

本日、八王子「宇宙の学校」開校式のパンフレットを配布しました。

11月11日の本部会場での第1回スクーリング「ストローロケットを飛ばそう」と「静電気で遊ぼう」の状況はプロバスだより第205号に記載しました。11月25日の桑志会場での第3回スクーリング「こまをまわそう」と「静電気で遊ぼう」の状況はプロバスだより第206号に記載します。また、12月15日の本部会場の第2回スクーリング「こまをまわそう」と「熱気球を飛ばそう」の状況もプロバスだより第206号に記載します。さらに、12月16日には桑志会場でスクーリングと閉校式が行われます。

「宇宙の学校」の第3日目 馬場運営本部長

第3日目は、桑志会場(都立桑志高校剣道場)では快晴の11月25日(日)に60組中51組の親子の出席で第3回スクーリングを行い、本部会場(八王子市教育センター)では曇り空の12月15日(土)に68組中57組の親子の出席で第2回スクーリングを実施しました。(桑志会場では開校式当日に、プラネタリウム投影の代わりに「星砂で星座絵を描こう」を第1回スクーリングとして実施したので、スクーリング回数に差あり)。

桑志会場の第1テーマは「こまをまわそう」(指導は子供・宇宙・未来の会KU-MAの遠藤純夫先生)、第2テーマは「静電気で遊ぼう」(指導はKU-MAの萩原由久先生)で、本部会場の第1テーマは「こまをまわそう」(指導はKU-MA

の中村茂先生)、第2テーマは「熱気球を飛ばそう」(指導はKU-MAの山下法昭先生)でした。

以下には、テーマ別にまとめて報告します。

1) 「コマをまわそう」:先生から「コマ」は「ジ



ャイロ効果」によってまわること、ジャイロ効果とは「回転する物体

が回転の軸を一定方向に保とうとすること」であるとの説明があり、ロケットや宇宙船はこの効果を3次元ジャイロとして利用し基準点がない宇宙空間でも方向を維持したり変えたりできるとの説明がありました。また自転車もジャイロ効果を利用しており、地球も巨大なコマのように自転して安定な回転をしていると追加説明がありました。

実験ではどんなコマが長くまわるかを確認しました。①半径7~10cmのコマ②半径3~5cmのコマ③(一部の組で)半径7~10cmの2枚張りの重いコマ、を厚紙で作って回して比べました。大部分の組の結果は長く回る順に③、①、②でした。桑志会場では、コマを回した机を色々な方向に傾けてもコマは水平に回ろうとすること(これもジャイロ効果)を実験で確認しました。本部会場ではジャイロコマを2本の糸でつるして回転させて、糸の1本をきってもそのまま回転を続ける様子を先生の実験で確認しました。多くの子供達

がコマの持つ性質に改めて気付いたようでした。

2) 「静電気であそぼう」:桑志会場の第2テーマ



でしたが11月11日に本部会場と同じテーマが実行されました(プロバス

だより205号記載)ので詳細は省略します。11月25日は快晴で湿度が低く静電気の実験には好

都合で、電気クラゲはよく空中で泳ぎ、静電気による蛍光灯点灯も全て成功し感嘆の声があがりました。

3) 「熱気球を飛ばそう」:本部会場の第2テーマ



マでしたが10月28日に桑志会場と同じテーマが実施されました(プロバスだより205号記載)ので、詳細は省略します。今回は実地で観察しましたが、すばらしい実験素材

と作り方(安価、加

工し易い、皆の力を結集)と出来上がった熱気球の大きさ及び性能の良さには驚きました。2テーブル当たり1気球の計8気球を「5,4,3,2,1、発射」のカウントダウンで飛ばし、会場の雰囲気は一気に盛り上がりました。9台目の気球(予習で作成)に“八王子「宇宙の学校」”号もあげました。発射から着地まで40~50秒、体育館天井の滞空は15秒前後でした。

11. 第5回全日本プロバス協議会総会報告

上川会員

報告内容を配布の資料にまとめてありますのでご覧ください。現在、プロバスクラブは全国で108、協議会への加盟クラブは59クラブです。これらクラブ間の情報を交換することが協議会の最大の目的です。40クラブは会員数が10名以下と少ないこと、会員の高齢化が問題になっています。年会費が1クラブ3,000円と少なく、協議会の運営上の最大の問題です。なお、本年度の会長には、横浜クラブの加藤武氏が選任されました。

12. 同好会報告

お茶の会 竹内会員

すでにご案内した12月の例会(18日)に欠席の方はご連絡ください。

美術鑑賞会 宮崎会員

東京都美術館で開催中のメトロポリタン美術館展を鑑賞し、さらに台東区立下町風俗資料館へ参ります。参加希望の方は本日中にご連絡ください。

写真同好会 矢島会員

11月19日と20日に秋の撮影会を実施しました。参加者は5名でしたが、紅葉を堪能しました。この写真展を年明けに実施する予定です。

俳句同好会 河合会員

俳句同好会を設立して1年経過し、昨日は12月の句会と忘年会を開催しました。毎月、「プロバスだより」に「俳句同好会便り」の紙面をいただき有難うございます。

13. その他

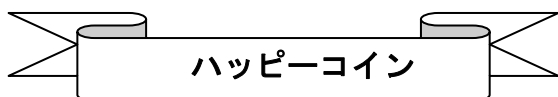
いちょう祭り 佐々木 研吾会員

11月17日・18日に第33回いちょう祭りが開催され、33.2万人の方が参加し、この祭りは市民に定着しているとの感を持ちました。会員の方々のご協力とご来場を頂き有難うございました。本日、本会に入会された高橋敏夫会員はいちょう祭りの草分け的存在です。いちょう祭りとは本会のますますの発展にご協力いただけると期待しています。

14. プロバスソング斉唱

15. 閉会の挨拶 荒副会長

本日の例会は熱気のあるすばらしい会でした。有難うございました。



◆11月17日・18日の第33回いちょう祭りでは、有志の会員の皆様から受付・案内のご協力を頂いたほか、多数の方々のご来場下さり、まことに有難うございました。 佐々木 研吾

◆今年も又、バースデーカードが一枚増えました。池田ときえ会員のお骨折りに感謝して。

杉山 友一

◆俳句同好会に参加して1年経ちました。俳句は、知と情と意にわたる実に手応えのある活動です。楽しいです。 山形 忠顕

◆先日、青少年育成協力者として都知事より感謝状を壇上でいただきました。 根本 洋子

◆遅々として復興の進まぬ被災地を見学し、一日も早い回復を祈る気持です。 土井 俊雄

◆第33回いちょう祭り開催に当たり、皆々様の御支援と御協力のお陰を持ちまして32万人の大勢の来場者がこられ、事故も無く無事にイベントが終了出来ました。警備委員長としての大役をたさせていただきました。誠に有難く感謝申し上げます。有難うございました。 岡本 宝蔵

◆我が八王子フィルハーモニー合唱団は創立20周年記念演奏会を去る10月28日、オリンパスホールで成功裡に行うことが出来ました。難しいヘンデル作曲「メサイヤ」をなんとか歌い上げることが出来てホッとしています。 岩島 寛

◆孫娘が成人式で「新成人のちかい」の発表。私は八王子フィルハーモニー合唱団を引率して成人式で国歌・市歌を歌います。バアチャンと孫がオリンパスホールの舞台に出演です。これで3人の孫が全部成人しました。 立川 富美代

◆八王子フィルハーモニー合唱団の20周年記念「メサイヤ」無事に終りましてありがとうございました。今年も元気で恙無く過させて頂き、感謝。

大高 秀夫

◆先月大台を超えました。プロバスでいただいた「青春とは」の言葉を改めて味わっています。今後ともよろしくお祈りします。 近藤 泰雲

◆八王子市市からの依頼で小学校6年生の社会・歴史教材の授業で「戦時下の小学生」を実施してきました。体験を中心に話すと6年生はびっくりしていました。 広瀬 智子

◆今年も悲喜こもごもの日々でした。今年にあやかり来年の一陽来復を祈って - - -。古川 純香

◆10月に2人目の孫(女の子)誕生。12月初めに、お宮参りも無事終了し、一安心。馬場 征彦

◆毎日1万歩を歩くことを目標にしておりますが、3年連続で11月中に365万歩を達成しました。

野口 浩平

◆能楽100番、狂言90番の鑑賞ができましたので。 内山 雅之

◆10月末、京都の鞍馬寺へ行き「本殿金堂」までのつもりが、もう一山越え「奥の院魔王殿」まで足をのぼし、牛若丸伝説の「背くらべ石」「木の根道」をみて来ました。 高取 和郎

◆多摩・日野・八王子3クラブのご近所づきあいが軌道にのってきた。ハッピー。 吉田 信夫

ウクライナ・黒海クルーズの旅 馬場 征彦

1:「クルーズ旅」のきっかけ



私の場合最近の海外旅行はクルーズ船の旅が多くなっています。最初の船旅は2005年の「エーゲ海」旅行でしたが、この時は「クルーズ旅」は念頭になくエーゲ海観光が主でした。

一方、仕事の関係で2度ほど行ったことがあるロシアのサンクトペテルブルグが放つ宮廷文化の印象が強く、家内に一度は連れて行きたいとかねがね話していました。そんな折、家内が偶然旅行会社のパンフレットに「バルト海、サンクトペテルブルグ・クルーズ」（A：ドナー発ストックホルム着）を見つけたのです。この時も最初はサンクトペテルブルグが主目的で「クルーズ旅」はそのための手段でした。2008年6月に実際に乗ってみると「クルーズ旅」の快適さにすっかり魅せられ、特に家内はすっかりはまってしまいました。

「クルーズ旅」の魅力は私見ですが、第1にはゆったりした開放感（船そのものが動くホテルであり、荷ほどきと荷造りが1回ですむ等時間余裕が大）、第2は移動時間の節約（観光地から観光地への移動が主に夜間）、第3は珍しい観光地訪問（船ならではの穴場や奇観）、第4はショーなどのエンターテインメント（ホテル内の移動程度の気軽さで参加可）、第5には利用しているクルーズ船に和食レストラン（ノブ・マツヒサ提供、寿司バーもあり）があること、でしょうか。欠点は港から遠い観光地訪問には不向きという点です。その後、「イタリア半島一周クルーズ」（B：ベニス発モナコ着）、「アラスカ・クルーズ」（C：サンフランシスコ発着）に乗船し、今年は「ウクライナ・黒海クルーズ」（D：ベニス発イスタンブール着）に行きました。今回投稿勧誘を頂いたこともあり、そのハイライトを紹介させていただきます。なお、4回ともクリスタル・クルーズの船でA・Cがクリスタル・シンフォニー（51,044

トン、乗客定員 922 人、乗組員 566 人）、B・Dがクリスタル・セレニティ（68,870 トン、乗客定員 1,070 人、乗組員 655 人）でした。

2:「ウクライナ・黒海クルーズ」の概要

6月19日成田出発、7月2日成田帰着の旅行会社ツアー（添乗員付き）に参加しました。今回のクルーズの旅程は地図の白枠表示の通りですが、目玉は、①ベニス観光、②古代オリンピア遺跡観光、③ボスポラス海峡通過、④ウクライナの3都市観光、⑤イスタンブール観光でした。ここではクルーズならではのポイントに絞って記します。



・ベニスの出航風景；これこそクルーズならではのものです。6月20日17時出航とともに始まる出港パーティのカクテルを片手に、最上階（13階）のデッキからその日訪れたサンマルコ広場や寺院、ドウカーレ宮殿などベニスのランドマークを順次見ながらの出航風景は浮き浮きさせるものがあります。夏至近くの17時では余り気分が出ませんが、2年前（B）は9月でしたので、かねがね聞いていた情景を満喫したものです。



・カタコロン（ギリシャ）；“古代オリンピア遺跡群”（近代オリンピック聖火の採火場であるへ

ラ神殿、ゼウス神殿、競技場、博物館等)を見ました。競技場の大理石のスタートライン、博物館のヘラクレス像と満開の夾竹桃が印象に残っています。

・ボスポラス海峡通過；24日は7時30分にダーダネルス海峡、10時30分にマルマラ海、16時にボスポラス海峡に差し掛かり、18時ごろに黒海に抜ける終日航海日でした。特に12階の展望室でモーツアルトのティータイムを楽しみつつ、イスタンブール市街を両舷に見ながら進むボスポラス海峡通過は圧巻でした。

ブルーモスク、アヤソフィア、トプカプ宮殿、ガラタ湾、海峡を跨ぐ2本のつり橋などを目の当たりにしながらのひと時でした。ただ夕日で逆光だったのは残念でした。写真下は29日早朝に黒海からイスタンブールへ向かう帰りのボスポラス海峡で撮ったものです。



・ウクライナの3都市；黒海の北岸から広がるウクライナは空路や陸路での観光は容易ではないでしょう。クリミア半島にあるリゾート地ヤルタ



は、1945年2月あのヤルタ会談が行われた地です。その会場はリヴァディア宮殿(写真)でロシアの最後の皇帝ニコライ2世が建てたものだそうで、ルーズベルト大統領の宿でもあった由。

セヴァストーポリはナイチンゲールの活躍で有名なクリミア戦争の戦場になった所で、古代ギリシャの殖民都市(遺跡を見学)に端を発し、現在はロシアとウクライナの海軍基地があります。が略します。

オデッサは重要な貿易港で人口は約110万人。横浜市とは姉妹都市で海軍基地もあります。オストラフ、カンディンスキー、ガモフ、トロッキー、プーシキンなどを輩出したそうです。“ポチヨムキンの階段”(写真；1905年に発生した反乱を題材とした無声映画の名作“戦艦ポチヨムキン”で有名。幅約18メートル、200段の階段)や



小粒ながら装飾が美しいオペラ座(写真)、想像



以上に綺麗なヨーロッパ風の街並みが印象に残っています。船が停泊したのでこのオペラ座で“ジゼル”を見ました。

訪問したウクライナの3都市は、少なくとも夏は地中海地域かと思いがうばかりの風光明媚な街で、ウクライナという国名から受ける暗い印象を払拭させられました。

・イスタンブール；朝9時に入港し、翌朝下船でしたのでアヤソフィア、ブルーモスク、トプカプ宮殿に入場・見学し、グランド・バザールもみてまわりましたがクルーズ以外でも訪れる方は多いでしょうから省略します。

3:「クルーズ旅」の蛇足

①クルーズ旅を楽しむ人の中には、船がドッグに入っている時以外は乗り続けている（住んでいる）人がいるそうです。食住は勿論医者もおおり、話し相手や娯楽にも事欠かないからとのこと。今航海でも200回乗船表彰を受けた人がいました。②クルーズ旅を楽しむ日本人は米国人の25分の1でまだまだ少ないそうです。因みに今回の乗客は589名で内訳は米国人311、英国人62、豪州人45、日本人34でした。私のたった4回のクルーズ旅でも、2組の日本人夫婦と夫々2回同じ船に乗り合わせ吃驚したものです。③今回も乗った“クリスタル・クルーズ”はロサンゼルスに本社を置く日本郵船の子会社ですが、船長を含めて幹部は全て欧米人で、船内の公用語は英語です。大部分の外国人は米国の船と思っているようです（飛鳥Ⅱも元はこのクルーズのクリスタル・ハーモニーでした）。ただ日本人対応専門スタッフもおおり、インターネット利用等による個人旅（私も2回はこれ）では大いに頼りになります。

俳句同好会便り

私の一句～12月の句会から 河合 和郎

12月の兼題は「時雨」。相変わらず談論風発の活発な句会。皆さんの一句をご紹介します。

紀ノ川のけぶる時雨や一人旅 阿部 治子

旅の句として秀。一人旅の寂しさが季語との組み合わせで強調された。地名も相乗効果に。

もず叫ぶこの茜空俺のもの 山形 忠顕

ユニークな発想の句。庭木の枝で鋭く鳴く鴉の声聞いて句想が浮んだ。鋭い感受性。

船影も霧に溶け込む夕時雨 馬場 征彦

琵琶湖の夕景を読んだ佳句。句を詠むことによって旅の印象はより深いものとなる。

高々と熊手が歩く酉の市 渋谷 文雄

句会の満票をとった句。酉の市の雰囲気や平明に詠んで秀逸。これからの作品に期待。

湯豆腐の温もり掬ふ夕餉かな 石田 文彦

一家団欒の様子がよく描けている。特に「温もり掬ふ」の措辞がほのぼのとして秀。

朝しぐれ小屋根に鞠の忘れ物 田中 信昭

日常の一コマを切り取る観察眼に敬服。作者のやさしい目線が感じられる。

小布施路や時雨に濡れし栗一つ 飯田富美子

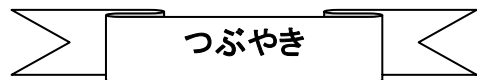
栗の産地小布施の地名が生きている。旅先での感動を一句にまとめる創作の喜びを味わう。

土台ばかり残りし郷に氷雨降る 東山 榮

震災の地を激励訪問した折の一句。季語の幹旋が現地の厳しさを伝えてベスト。

竹林の真青ひときは北時雨 河合 和郎

京都での作。秋の竹林は青竹の深い色が殊のほか美しい。兼題の時雨を生かしての一句。



“統一したら良いと思うのですが・・・”

会員の呼び方や書き方の敬称がまちまちです。○○さん、○○様、○○先生など色々な呼び方です。会長、副会長、幹事、委員長は決まっておりますが、他は全員プロバス会員ですから、せめて例会では誇りを持って○○会員と呼んだり、書いたりしたらすっきりすると思うのですが・・・プライベートでの時は別ですが。

“挨拶したら良いと思うのですが・・・”

会員も多くなり、月1回の例会しか顔を合わせない会員が多くいます。古い人でも鼻を突き合わせても挨拶もせず知らん顔して行き過ぎます。同じクラブ員です。せめて目が合ったら“挨拶”することを心がけたら例会もホノボノとすると思うのですが・・・。(F・T)

(編集後記) 政権も変わり、今年が良い年になることを期待。 石田 文彦